

127N-36



百貨店をめぐ
る
經濟統制の概況並に賣上高の趨勢

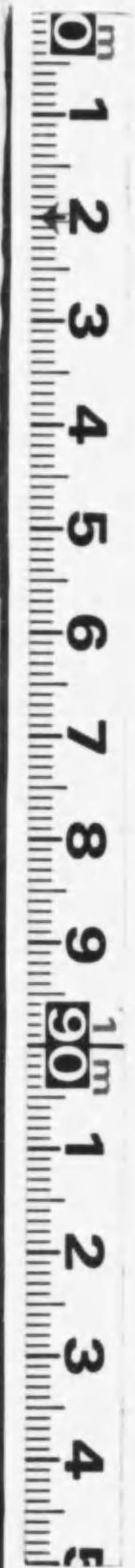
特256

445

資料
No6
一十三年六月

發行所寄贈本

商工省調査統計局調査課



始



はし
が
き

戦時および戦後を通じての配給機能の推移、とくに百貨店を中心とするそれについての意義、義についての、すなわち調査課資料第4号の「はしがり、に述べた通りである。

本稿はさうな同号につづき、百貨店売上高の名目的および実質的推移を指徴化して示すと共に、その背景をなした終戦前統制の概要を略述した。いわば戦時統制史の一断面を教訓に示したものと云ふ得よう。売上高指徴は今般にも引鏡き作風し発表して行く方針である。

本稿は当課広田、佐藤の両課員が担当した。

昭和二十三年六月

調査課長 岩武照彦



目次

はじめに

第一 序 一頁

第二 百貨店をめぐる経済統制の概要 三

第三 売上高の趨勢 一四

(一) 終戦前迄 (昭和二一〜二三)

(二) 戦後 (昭和二一〜二三)

第四 価格指数の説明 一八



第一 序

資本主義を基盤とし、資本主義進展と共に発達を遂げたる百貨店は小売
商販の形勢と定見とへられた。而して其れは昭和一四年臨時國勢調査に
於ける「販売インデックス」に依つても見られる如く商部門中比較的重要な地位
を占めて居る。然るが故に其の売上高は國內総府社会の差遷を微妙に反
影するものである。

戦中より平和、戦時統制より戦後統制、軍需インフレより戦後悪性イン
フレ等國內事情の差遷と共に百貨店販売の指標とも云ふべき其の売上高
は如何なる推移を辿つて居つたであらうか。

能く調査資料第四号に於て「戦前及戦後」に於ける百貨店取扱商品及売上
高の構成比較」と題して戦前及戦後に於ける比較を試みた。之は單に断
面的比較に止まり売上高趨勢の調査結論は今回迄持越さぬたのであつた
因つて本文に於ては百貨店売上高の推移と共に其の売上高に直接反影す

る。国内の経済統制の概要を要として百貨店を中心として解明してゐたいと思ふ。

尚現在當局に於て調査して居る百貨店売上高は金額面に於ける統計であり、現下のインフレ下に於ては金額面に於ける売上高を以つて之が好況なりや否やを一概に断定する事は甚だ危険であるので本文に於ては特く百貨店の販売価格の実際の適合すべき価格指数を作成し其の実際の売上高の推移も併せて考察した次第である。

(一)の調査に使用した資料は内閣統計局、昭和一四年臨時國勢調査に於ける配給センサス日銀小売物価格指数と當局調査百貨店売上高統計である。

第二 百貨店をめぐる経済統制の概要

(一) 終戦迄

資本主義を其の基礎とし之と併行的に発展した百貨店も昭和七年當時一般小売高との対立激しく百貨店側の自衛協定と其の基に高呂券取締法を現た。又同時に百貨店相互の対立競争も愈々熾烈となつた。降つて昭和二年百貨店法の実施に依り百貨店の淘汰も行はれ一応百貨店数も安んじられた。

然し乍ら當時迄は我國の小売配給内部の調節を圖る為の百貨店統制に過ぎなかつたが日華事変が入つてからは事変に基く國を挙げての國家統制となつた。それは單に流通部面のみならず、凡て國內の經濟は生産配給消費と全體有機體に亘り適用実施されたのである。之が為め百貨店に對しては従来單に價格的自制的なものであつたのが直接的強制的統制となり自由競争主義を根本要件として存在發展する百貨店心事變に際して其の性格を異にする統制經濟の中に突入して来たのである。之を少しく具體的に解明し當時の經濟統制の一

端を伺つて見たい。

事案に入つてからは昭和一二年九月臨時資金調整法により百貨店は事業設備の新設拡張等が禁止され同年十月輸出入品に関する臨時措置に関する法律に基く臨時輸出入許可規則により舶来品の輸入禁止更には七十一議案に事案特別税法による物品税の創設等小売消費価格面に於ける課税の徴集と云つた更には事案進展と共に戦時経済の統制強化も年次に見つて高められ価格面に於ては物価騰貴防止の爲、一四年所謂九、一八の物価停止となり之が爲め、百貨店に於ては経営上然多の困難を来した例もある、物価停止に依り一応物価は安定の形をとつたが軍需インフレーションはさけ難く価格の騰貴は愈々激しく最高価格制を採用し暴利取締令を強化し、一方物品税は初期の税率を改正増収した（昭和一四、一五、一六、一八年に見つて）之を商品面について見るならば軍需商品が重税的に取扱はれた結果先づ奢侈品につき綿につき次に皮革等以下順次に

に使用制限令が發せられた。

① 即ち昭和一二年には金箔、金線、金粉、金液に至る造金製品は一切其の使用を禁止され又白金鋼の使用制限規則、尚日軍事案に関連して又貿易の調整を圖る爲に綿花、羊毛の代用として、スフが使用され、毛織物にはスフ、綿、絹、人絹を三割以上使用、綿製品にはスフを三割以上混紡した、殊に綿製品について、國用絲の配給を極端に制限し、割當も日々減少した、斯くの如く國內用の切迫を付けた繊維製品は、一四年製造制限規則が公布され製造面に於て又配給面に於て高度の統制を受け初めた。

斯くて昭和一七年一月に至り一般國民消費用としては配給消費統制規則となつて表はれ此は切符制度が表現され消費は益々本格化されるに至つたのである、殊に一八年に入ると繊維製品指

文中、紙織物を追加し、蚊帳、敷布、千ヨツキ等は紙織物で
代用する等、斯くて繊維代用品は故に迄及び繊維不足を加突
物居つて居り、戦争末期に至つては衣料切符は殆んど空手形に
終止した。

元来百貨店は戦前の品別販売高の構成に異なれる如く平常態
に於ける其の販売ウエートは衣料品に集中し其の約五〇〜六〇
%迄は之に依つて占められ居つたのである。従つて戦時中民
需衣料の逼迫から使用制限販売制限等と第一連の消費現正は百
貨店に対して如何に大打撃であつたか如何に水洩る。

② 一方食料品については昭和一大年米麦主食を初め舞舞介、青果
物等の配給統制は開始され、一七年食糧管理法の施行に依り主
食料配給の機構は根本的に改革され之は取扱は炭林大炭の指定
団体に限定される事となつた之は為百貨店に於ては主食食料配給
機関たる地位を割奪されたのである。

③ 皮革製品も繊維製品同様もつばら單需用の重要な品になり昭和一
五年一月皮革配給統制規則が公布され之を期として年を過
配給統制は強力なものとなつて来た。

④ 雑貨家庭用品等については昭和一大年着替用品等製造販売制限規
則が施行され着替用品は其の範囲も拡大され其の小売販売は禁止
されるに至つた。

更に一七年には其の指定品目も鋳、鉄、風呂釜、アルミ、アル
マイト製品物(一一年一月〜八月)等日用必需品に迄及び一九
年六月家庭金物たる銅板製品、線材製品、平板製品、豆鋸、メッ
キ製品等殆んど家庭金物全般に亘り小売禁止となり技術、技術
保存用として申請の上許可を受ける事となつた。

然つて家庭金物雑貨類は金属製品に用たる木製品或は陶器代用
たる土鍋及釜、更には木製品に用たる竹製品が出現して来る等
代用品時代は此処に於て頂矣に達して来た、一方昭和一八年に

は改正金屬回收施行規則が公布され、家庭所持の金物類は徵集を
受けるに至つた。
以上は物品の配給面に於ける百貨店に及ぼした政府の強力なる
總府統制であるが、一面価格面については既にその問題は觸れ
た如く昭和一四年九月一八日価格等統制令が施行されたが、軍需
インフレの高進に伴ひ価格も急騰し遂に最高取壊価格制度とな
り先づ昭和一四年米穀については最高取壊価格の指定が開始さ
れ、更に昭和一五、一六、一七と各年の夏に亘り改正価格の実施は余表
なくされ、他如く他の商品も同様方法を採つて価格の改訂が行は
れ、一方昭和一五年には暴利取締令を改正強化し、強力で依り
依り全面的に価格統制を行ひ或は統制の改訂及び貯蓄奨励運動
に依つて國民の購買力を吸収しインフレの抑圧に努めた。
斯くて商品及価格面に於ける統制は百貨店に対する直接的統制
であり、太平洋戦争突入に及んでは一變と強化され、力である。

が其他一般的なものとしては既に昭和一三年に商店法が実施さ
れ、閉店一時停止と営業時間制限、更には一七年に企業整備
令の施行、同年九月電力消費の規則、九年同改正の本格化等、
更には總務資金面に於て昭和一六年銀行等資金運用令に依り資
金面に於ける制限を受け初め或は人的には軍需動員の必要から
昭和一五年國民徴用令施行一八年之が本格化等に依り百貨店從
業員の軍需工業への転換が之の面からも余蘊なく、此戦争末期
に至つては空襲、戦災等社会的總府統制或は対外的打撃に逐
には民衆の激変を誇り資本主義小売商の花形とたゞへり此百
貨店も大部分貸望と化し大建業の一隅に代用品の若干を並べ
る程度で首の面影は見られなかつた。

(二)

戦後

斯の如く苦難の旅に突入した百貨店は終戦と共に百貨店本来の
姿に早くも目醒め戦後の飛躍たる總府段の中下力強くも文上

つたのであるが、其処に見出されたものは戦時以来のインフレの高進と闇の横行に依る不安定な社会世相であつた。戦時中の統制は其の保存はしたが終戦と共に或る一部の統制は緩和され或は弛緩した。一方戦時中の国民貯蓄は銀行預金のみにあつても約一二、〇〇億圓に達して居たが戦後の経済混乱、食料を中心とした民心動搖に依り其の引出が活発に行はれたとの浮動購買資金は二〇年一〇月着後品に換する物品指定解除一二月青果物及び生鮮食料品等の配給統制撤廃を期とし、更には財産税回避の換物運動が活発に展開された。之に依りインフレ促進に拍車をかけた。物価は急カーブで上昇して行つた。斯くて、二一年二月金融緊急措置の施行となり、翌三月国民経済の安定と社会秩序維持を目的とする各種物品の統制額を全面的に改訂する物価統制令が施行された。之に伴ひ戦時中の物価統制令及び暴利取締令は廃止された。之の強力な措置と併行的

に翌四月価格等取締令規則が施行された指定物品即ち飲食料品、家庭燃料、衣料品、食器類、厨房用品、化粧品、兼身具、服飾品、其他身用品、金物、荒物、其他家庭用雜貨類、玩具、文房具等、百貨店取扱商品中凡ゆる商品が価格取締の対象となつた。然し乍ら物価統制令に依り着々統制価格の改訂が行はれた。之がわらす斯る価格取締は決定的なものでなく、悪性インフレ下の(公)物価体系は通貨の増発に附随し得ず昨年七月価格体系を又々全面的改訂する力やむなきに至つた。消費物資面に於ては戦後軍需より民需に転換されたとはいへ主要物資の絶対量不足は覆ふべくもなく卒して軍用品「ストック」の放出と細々乍らの生産に依つてまかなわれ居つた。過度の之が為主要必需物資の配給統制は一層強化された。主食用原は戦時中の配給統制に依然特定機関の手を委ねられ居る。衣料品、生鮮食料品等は戦時中の一手買取配給機構は打破され登録制等

により一般商人の存在は広く認められる様になつた。
即ち、二一年一月水産物統制令、二二年七月鮮果の配給規
則の改正、加工水産物配給規則、青果物及漬物配給規則の公
布さる。

衣料品については戦後民需の逼迫から特定消費者、即ち戦若者、
引揚者、妊産婦、乳児、学童、労務者報償用等特殊配給に過ぎ
ず、国民一般の配給としては卒して昨年九月登録制に依る衣料
切符制度が復活し現実は昨年より本年に入つて市場に姿を
見せ初めた。

高戦後一時指定物品の解除となつた消費用品及反革製品は禁制品
となり代用品は戦後に於ても依然其の域を脱し得ぬ。然し乍ら
主要必需品以外の家庭用品、雑貨類等は殆んど自由品が多く戦
時中の消費規正、戦災等に依る消費者の手持不足が百貨店に
対する購買力は之に集中して居る。

概して戦後百貨店に於ては主要必需品を除いては日華事変當初
と表りない迄に商品が出廻つて居るが戦前最高販売比重を占め
て居つた、衣料品が、わづが一二%となり之に及し雑貨類が、
三五・六%と最高比重を占めて居るのを見ては其の販売比重の
性格がうかがわれる。

兎も尚且、戦後に於ける主要商品の純増不足は物価の騰貴と
なり、或は価値面に於ける統制強力な価格取締令となつて現は
れれば流通過程に於ける闇の横行は避け得られず、之は又一般
物價行に迄発達して居る。

インフレ下の斯る煩瑣的流通過程の中で而も小売商設立の中に
あつて昨年一二月百貨店法が廃止されたとはいふ店舖は依然實
望、接收、或は戦災未救等悪条件から解消されず、更には資金
の窮屈化の下に於て百貨店は比較的健全な配給機関として確實
な商品を公価若くは公価に近い価格で一般大衆に供給し敢然と

故に凡た為打鏡く生活不安と共に、二〇年一月生鮮食料品の配給
統制撤廃を期として購買力を膨脹せしめ更には来るべき新産物及金
融措置に依る封鎖回産の換物運動の激烈となつて其の購買力は鋭く
事を知らざる迄に商品買取りに入をして狂奔せしめた。

斯る當時の事情を反動して百貨店に於ける売上高も二〇年一月、
一二月翌ニ二年一月と急激に上昇し遂に二月に於て其の頂尖に達し
戦後の最高記録を示すに至つた。即ち今表に於いて其の推移を辿つ
て見るならば終戦直後は価格指数が一二月迄大抵停止状態に在つた
為とは本此の其の突賣的売上高は二〇年一月に於て六一と回復
し一二月には九八と急騰し基準時は更に上昇。翌二月に於て名目的
売上高は一五〇突賣的売上高は一四七と飛躍した。然し此の金融緊
急措置、物価統制令或は価格等取締規則等一連の終戦政策に依り価
格指数は飛躍的に上昇を初め之が為名目的売上高は既に四月に於て
一一天と回復しては居るが突賣的売上高は激減し四月に於て最低に

二二を示して居る、之を以つてするならば如何に新用生活に依り國
民の購買力が圧縮されたかゞ感ぜらる。

而るに五、六月頃より新月増加と共に新用生活も次第に前此初め漸
次名目的売上高の上昇率は価格上昇率を上廻り突賣的売上高は着々
と増加して行つた。

即ち五月以降は二七、二九、三一、三四、三六、四四、四九、と遂
に一二月に至つて基準時の八四に回復した（然し此の一二月は商店
収入に於ける力が入り時であり季節的膨脹期ではある。）

二二年に入つてからも依然名目的売上高上昇率は価格の其れを上廻
つて進行し之が為突賣的売上高は増加して行つた、三月に至つて
二一年一二月とは同水準入りの台に到達し五月に於て二二年の最
高記録八六を示した。

然し此の六、七月に入つては食事情の悪化、即ち食事情が季節的悪
化の時期であり其れは更に配給操作の不同滑に依つて促進さる運配

欠取の繰出等、或は又七月の価格低減の改訂に依る公價の大幅引上げに依り七、八月頃は価格が急激に上昇し之が為実質的売上高は七月の中元季節を迎へても急カーブで減少（大八）を初め八月五二、九月三八、一〇月三七、十一月二九と下落して行つた。之の現象は二半前半と逆に名目的売上高の上昇率が価格上昇率に追いつき得ぬが為に起つたものである。之の事は更に物価改訂に際し購買力の源泉となる賃金と物価との間に何の矛盾があつたと云ふ事を物価つて居るのではないからうか。一二月に入つて季節的売上高の騰貴期を迎へ大一と増加し、六月に入つてからは又昨年同様の急落を辿つて居る。然し乍ら来るべき物価改訂に依り恐らく価格の大幅な改訂が行はれる事と思ふべき左期として本年も又実質的売上高が減少して行く事は少く見られる。兎も此二一年四月の物価改訂、二二年七月の物価改訂本年に入つて来るべき物価改訂と恐らく第一回の物価改訂は格

も季節的変動の如き極相を呈し百貨店売上高に強く反響して居る、然し乍ら終戦直後の過剰せる商品需要力も次第に減少し之れ、昨年前半と本年に於ける四ヶ月間との実質的売上高の幅にも見られる如く本年に於ては昨年のそれより約四割減を示して居るを見ても現代の耐乏生活が続く限り國民の消費購買力は依然圧迫され之が為既に其の減退現象が起きつゝあるのではないからうかと思ふ。

以上百貨店が一級消費者の凡てを代表するものではないが百貨店に於ける実質的購買力の不振はインフレの現段階の一面を物語るものとして注目すべきものであらう。

一、売上高の趨勢を戦前戦後一貫して取扱はなかつた理由は戦前戦後の商品別販売高の構成が根本的に変化して居り価格指教作成上幾多の困難が伴ひからである。

二、再三述べた如く戦後には於ける基準時は盲目的換物運動の活躍を許さあり之の異常な時期を基準とした事は高一考すべき餘地がある。

第四 價格指數の説明

既に昭和一四年價格統制令に依り小売公定價格が定められたが軍需インフレの下に價格の騰貴をつづけ最高限額統制制度は次々に改善され、戦後に於ては悪性インフレ下で物価は急ピツクに高騰し続け公定價格の大増改訂が再三行はれた。斯の極端変動状況を適切に把握する目的で作成したものであるが之が作成に當つて次の條件を考慮に入れた。

先づ第一に昭和一三年當時と戦後に於ては百貨店の取扱商品の構成が変化して居ると云ふ事、例へば昭和一七年迄は百貨店に於ても米、麦、主食類を販売して居つたが其れ以後今日迄食糧管理法に依つて一元的に配給となり、或は代用品の供給となり、戦後に於ては特有力商品が出現して米、麦等である。

第二には販売品目別分類へ食料品、衣料品、雑貨、家庭用品、其他

による全国販売高の構成比が終戦前期として根本的に変化した事、即ち昭和一三—一四年に於ては其の品別比重(一〇〇分比)中食料品(一四〇)衣料品(五七五)雑貨(一七八)家庭用品(八六)其他(二一)と衣料品が圧倒的多数を占めて居つたが戦後は食料品(二一五)衣料品(一三三)雑貨(三二九)家庭用品(一七八)其他(一五五)と雑貨家庭用品、食料品等が集中して来た。

第三には戦後の百貨店販売価格は公定のみに限らぬと云ふ事。

終戦前迄は戦時の強力な統制の爲に價格は一律的であつたが戦後に於ては闇物資の存在が百貨店に於ても全然見られなかつたが戦後に於ては闇物資の存在が極めて高き間、價格は一律的と云ふ事となつて来た而も百貨店販売価格は公定が多し公定に非ざるも協定価格等公定に近しいものがある。

以上之等の條件の下に本價格指數は日銀小売物価指數中より昭和一三年當時より百貨店に於て統制的に販売されて居る商品と抽出し之を基礎資料とし適當な「ウェイト」を賦定し加重算術平均法に依つて算出

した。

一、個別品目

基礎的個別品目は日帳の小売価格指数中の個別品目より百貨店取扱商品五ニ品目を選定し、大分類即ち食料品、衣料品、雑貨、家庭用品及其他の五大分類に整理した。(百貨店売上高分類と一致せしむ)各分類中から、より更に類似品目毎に夫々小グループを造り分類別指数算定の用に供した。

二、総合指数算定の方法

A 基準の決定

先ん述べた如く指数算定に採用すべき百貨店分類別取寄標は、此の戦前と戦後と於ては其の性格が一変した為更に昭和一九二〇年の資料を欠くので売上高指数同様戦前昭和一九二〇年と戦後昭和二一年一月乃至二三年三月迄と二つの段階に区分し別個に取扱つた而して於戦前と於ては昭和一九二〇一四年を基準

とし戦後は昭和二一年一月を基準とし之を夫々一〇〇として個別指数を求めた。

B ウエートの選定及び価格指数の算定(附表参照)

戦前の価格指数を総合するに当つては、二級に操作した。即ち大分類中に於ける各小グループ毎に単純算術平均法に依りグループ指数を求め、更にグループ毎の基準時(於ける取寄金額を「ウエート」として加重平均に依り分類別指数を求め最後に分類別基準時(於ける取寄金額を「ウエート」として総合指数を算定した。

戦後に於ける指数も同様方法を算定したものであるが之が「ウエート」はグループ及び分類別共昭和一九二〇年(於ける平均取寄金額を「ウエート」として選定し加重算術平均法を採用した。斯の如く「ウエート」は戦前戦後夫々特有の方法に依つて選定し百貨店の実情に適正ならしめられた。

一、日銀小売物価指数は公定物価に基いたるものなるが前述の如く現在百貨店に於ては公定物価以外の商品も多数あり而も之等は公定物価にいと云ふ特色を帯びて居る。其処で少くとも關物資が未だ市場に存在して居らなかつた。昭和二〇年初期迄の本物価指数は一応適切なものとして考へられるが戦後には急激に於ては急激に公定物価が所与インフレの上昇と共に公定物価も再三再四大幅に上昇が行われ殊に昨年下期より急騰して居る。之が為終戦後昨年初期迄は兩者の間に比較的大きき差が公定物価上昇率の方が關物価を上廻つて除々に接近し殊に昨年八月頃より公定物価が急ピツクに上昇し本年に入つては公定物価を上廻る物資さへ現はれる様な状況となつて来た。公定物価のみを採用した本物価指数も昨年頃より著しい上昇率が見られる。之が為百貨店物価指数の変動実情より幾分高められて現はれる未だ嫌ひがある。(第五、六表参照)

二、ウエート地区別に選定した為め物価指数も地域別に異なる。全国大

大都市及東京圏の物価指数は第三表の如くである。

三、当局に於て本年一月より全国百貨店に付き其の物価の変動状況を毎月標本に依つて調査して居るから將來は之の物価変動を基礎として物価指数を作成し之に切換へる考へである。

附表 卜 工 一 卜 表

分類別	指數	級			
		全國	大大都市	東京	京都
食料品	140	215	230	240	
衣料品	575	123	122	89	
雜貨	178	329	287	357	
家庭用品	86	178	199	212	
其他	21	155	162	99	
	1000	1000	1000	1000	

第一表 終戰前實土高指數 (全國分)

區分	年次	年							
		15年	16	17	18	19	20	21	22
名目的先土高		100	135	129	118	117	89	91	
價格指數		100	133	141	153	172	192	257	
實地的先土高		100	102	91	96	68	46	29	

第三表

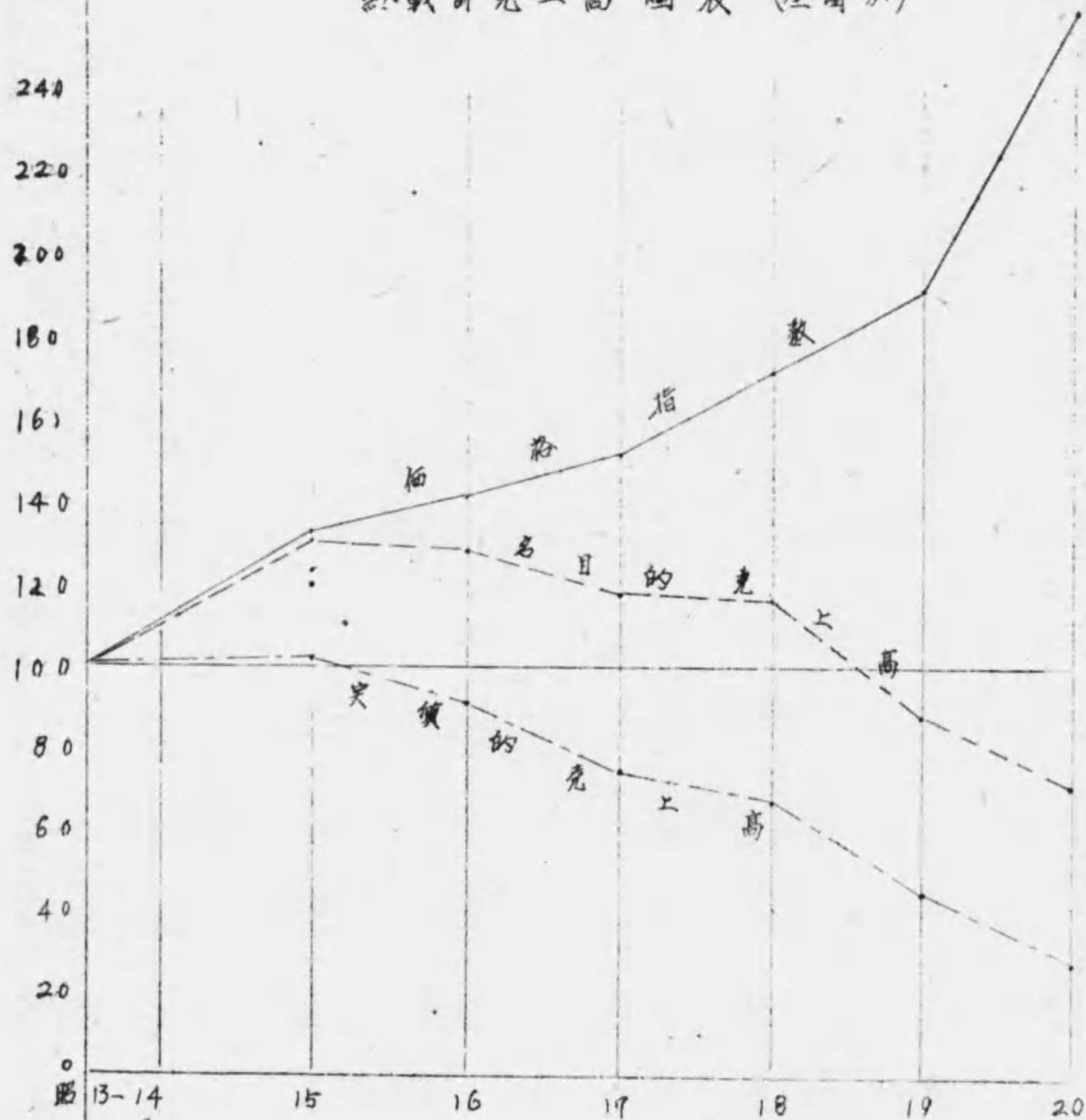
區分	年次	年次			年平均	
		20 9	10	11	12	年平均
全 國	名目的売上高	28	36	53	617	227
	価格指數	87	87	87	736	521
	實質的売上高	32	41	61	84	44
大 都 市	名目的売上高				638	228
	価格指數				727	513
	實質的売上高				88	44
東 京	名目的売上高				731	265
	価格指數				779	555
	實質的売上高				94	48

區分	年次	年次			年平均	
		22 1	2	3	3	4
全 國	名目的売上高	434	463	629	1,786	1,930
	価格指數	769	770	783	3,785	3,794
	實質的売上高	56	60	80	47	51
大 都 市	名目的売上高	427	457	619	1,780	1,917
	価格指數	757	758	772	3,711	3,722
	實質的売上高	56	61	80	48	52
東 京	名目的売上高	521	649	706	2,187	2,242
	価格指數	816	816	821	3,785	3,795
	實質的売上高	64	80	85	54	56

第二表

基準(昭13-14=100)

終戦前売上高圖表(全国分)



第三表

戰後賣高指數 (年間)

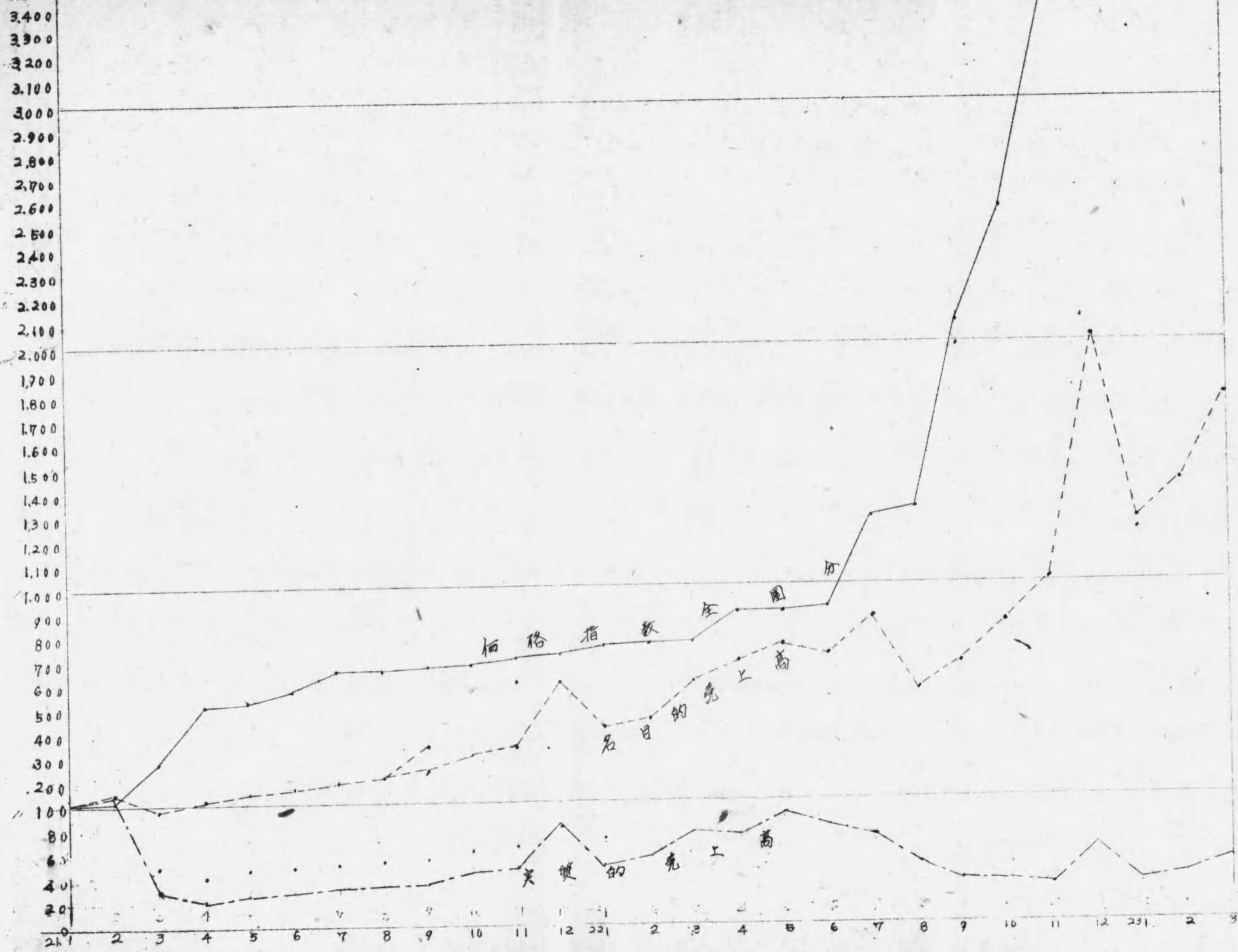
區分	年次	20	10	11	12	21.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
		9				基準												
全國	名目的売上高	28	36	53	73	100	150	99	116	144	169	205	226	242	307	351	617	227
	価格指數	87	87	87	95	100	103	291	523	529	581	666	662	670	699	710	736	521
	實質的売上高	32	41	61	78	100	147	33	22	27	29	31	34	36	44	49	84	44
大都市	名目的売上高					100	149	95	112	136	161	197	215	242	305	352	638	225
	価格指數					100	103	303	510	516	570	653	649	656	688	700	727	512
	實質的売上高					100	145	31	22	26	28	30	33	37	44	50	88	44
東京	名目的売上高					100	156	111	128	151	185	243	263	318	371	419	731	265
	価格指數					100	103	320	566	572	630	702	698	706	739	751	779	555
	實質的売上高					100	151	35	23	26	29	36	38	45	50	56	94	48

區分	年次	22	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均	23	2	3	4
		1													1			
全國	名目的売上高	434	463	629	706	765	739	884	688	776	955	1011	2,122	849	1,263	1,433	1,786	1,930
	価格指數	769	770	783	901	893	907	1,293	1,328	2,089	2,576	3,440	3,512	1,639	3,711	3,777	3,785	3,794
	實質的売上高	56	60	80	78	86	81	68	52	38	37	29	61	52	34	38	47	51
大都市	名目的売上高	427	459	619	699	756	733	876	886	820	987	1,040	2,206	876	1,266	1,455	1,780	1,919
	価格指數	759	758	772	896	887	902	1,240	1,273	2,119	2,578	3,358	3,424	1,617	3,631	3,702	3,711	3,722
	實質的売上高	56	61	80	78	85	81	71	70	38	26	32	64	54	35	39	48	52
東京	名目的売上高	521	649	706	777	841	776	1,055	897	837	1,086	1,082	2,309	953	1,387	1,591	2,137	2,248
	価格指數	816	816	821	927	918	954	1,352	1,391	2,272	2,761	3,677	3,722	1,447	3,901	3,976	3,985	3,795
	實質的売上高	64	80	85	84	92	83	78	64	37	37	29	61	54	36	40	54	56

240
220
200
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0
13-14

3800
3700
3600
3500
3400
3300
3200
3100
3000
2900
2800
2700
2600
2500
2400
2300
2200
2100
2000
1900
1800
1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
80
60
40
20
0

第四表
戰後費上高圖表 (全國分)
基準(昭和21.1月=100)



12
478
893
64
686
425
161
462
946
49
606
739
82
926
531
280

區 分		21 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
全	食料品	名目の売上高	100	149	114	118	138	155	179	181	153	212	268	478
		価格指數	100	107	296	337	366	562	600	667	697	726	772	893
		實質的売上高	100	130	39	35	38	28	30	34	26	29	36	64
衣料品	衣料品	名目の売上高	100	114	94	117	149	218	228	240	223	348	398	686
		価格指數	100	100	126	286	286	300	381	381	387	401	410	425
		實質的売上高	100	114	69	41	52	73	60	63	68	87	97	161
雜貨	雜貨	名目の売上高	100	148	85	98	126	137	151	180	186	232	262	462
		価格指數	100	106	178	817	817	842	735	946	946	946	946	946
		實質的売上高	100	139	43	12	15	16	10	19	20	25	27	47
家庭用品	家庭用品	名目の売上高	100	178	91	77	135	160	206	222	221	256	315	606
		価格指數	100	100	737	737	737	737	737	737	737	737	737	737
		實質的売上高	100	178	12	13	17	22	28	30	30	35	43	82
その他	その他	名目の売上高	100	147	99	138	135	150	278	348	389	501	560	926
		価格指數	100	100	100	100	100	100	331	331	331	331	331	331
		實質的売上高	100	147	99	138	135	150	84	103	118	151	169	280

3800
3700
3600
3500
3400
3300
3200
3100
3000
2900
2800
2700
2600
2500
2400
2300
2200
2100
2000
1900
1800
1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
80
60
40
20
20

差

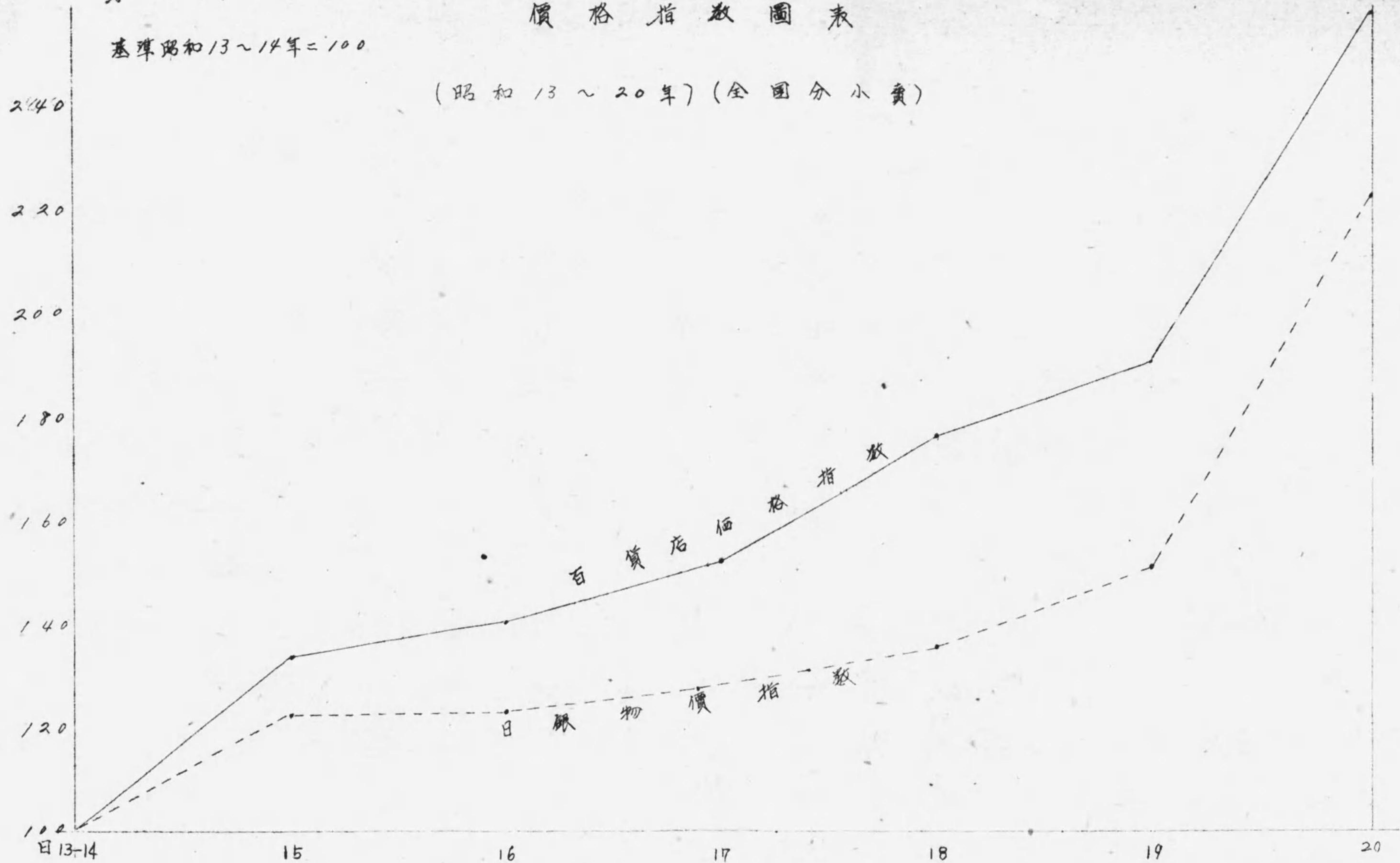
區		分	22	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	23	2	3	4	5	
			1												1					
全 國	食料品	名目的高	391	431	510	519	610	606	720	763	698	862	941	1922	1121	1230	1798	1539		
		價格指數	917	921	983	1174	1117	1183	1219	1270	1422	1168	1964	2007	2027	2335	2372	2416		
		實質的高	43	47	52	44	54	51	59	60	49	52	48	96	55	53	58	64		
	衣料品	名目的高	442	420	673	779	773	622	1018	1156	508	322	459	1437	817	1253	2061	2780		
		價格指數	425	425	424	424	424	424	438	438	446	1870	2083	2168	2193	2193	2193	2193		
		實質的高	104	99	159	184	184	147	232	264	114	17	22	66	37	57	94	127		
	雜貨	名目的高	333	378	521	581	617	623	735	693	663	874	857	1867	1076	1252	1497	1667		
		價格指數	1025	1025	1025	1025	1038	1038	2182	2256	2256	3042	5295	5435	5431	5431	5431	5431		
		實質的高	32	37	51	57	57	60	34	31	30	27	16	34	20	23	28	31		
	家庭用品	名目的高	407	444	595	649	722	714	960	847	803	1074	1095	2247	1204	1337	1707	1742		
		價格指數	739	739	739	739	739	739	739	739	739	4810	4823	5048	5048	5048	5048	5048		
		實質的高	55	60	81	88	98	97	130	115	17	22	22	45	24	27	34	35		
其他	名目的高	655	663	915	1006	1152	1052	1025	1009	1108	1377	1498	2476	1726	1785	1648	1693			
	價格指數	331	331	331	826	826	826	826	826	826	826	826	826	2066	2066	2066	2066			
	實質的高	198	200	276	122	140	124	124	122	134	167	181	302	84	86	80	82			

表六

價格指數圖表

基準昭和13~14年=100

(昭和13~20年)(全國分小賣)



區
全
國

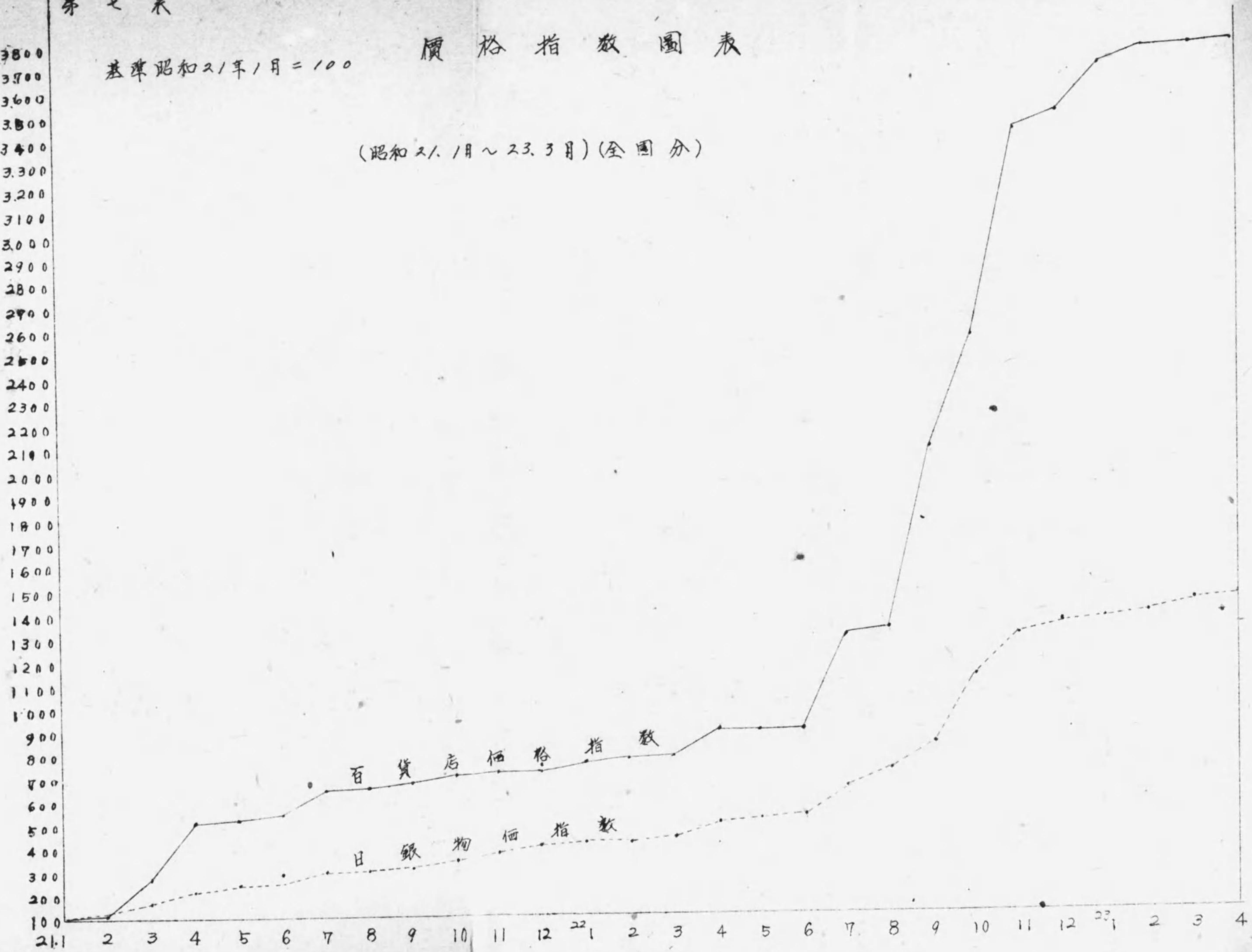
第七表

價格指數圖表

基準昭和21年1月=100

(昭和21.1月~23.3月)(全國分)

3800
3700
3600
3500
3400
3300
3200
3100
3000
2900
2800
2700
2600
2500
2400
2300
2200
2100
2000
1900
1800
1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100



第七表

基準昭和21年1月 = 100 價

(昭和21.1月)

3800
3700
3600
3500
3400
3300
3200
3100
3000
2900
2800
2700
2600
2500
2400
2300
2200
2100
2000
1900
1800
1700
1600
1500
1400
1300
1200
1100
1000
900
800
700
600
500
400
300
200
100

2.1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



終

